

高知大学大学院総合人間自然科学研究科

修士課程医科学専攻規則

平成 20 年 3 月 26 日

規則 第 115 号

最終改正 令和 4 年 3 月 4 日規則第 62 号

(趣旨)

第 1 条 高知大学大学院総合人間自然科学研究科修士課程医科学専攻（以下「本専攻」という。）に関する事項は、高知大学学則（以下「学則」という。）に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(目的)

第 2 条 本専攻は、医科学に関する幅広い知識を体系的、集中的に教育することにより、高度に専門化した知識と技術を身につけた医科学分野の研究者や教育者を養成し、併せて医科学を基礎として社会的諸問題を包括的に捉えることのできる人材を養成することを目的とする。

(コース)

第 2 条の 2 本専攻に、医科学コース、公衆衛生学コース及びヘルスケアイノベーションコースを置く。

2 学則第 56 条第 2 項の規定に基づき、公衆衛生学コースに、主として実務の経験を有する医師等（2 年以上の実務の経験を有する者）に対して教育を行う標準修業年限を 1 年とする 1 年コースを置く。

(副専攻長)

第 2 条の 3 本専攻に、副専攻長を置く。

2 副専攻長は、専攻長が指名する。

(指導教員)

第 3 条 本専攻の教育、研究及び学位論文の指導のため、指導教員を置く。

2 指導教員は、学生の研究分野に応じて定める。

3 指導教員は、原則として本専攻を担当する教授をもって充て、必要に応じて複数の指導教員を充てることができる。

(教育方法)

第 4 条 本専攻の教育は、開設する授業科目に基づく授業、学位論文の作成等に対する指導

(以下「研究指導」という。)により行う。

2 学生のうち、職業を有する者については、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

(授業科目及び単位数等)

第5条 本専攻において開設する授業科目及び単位数等は、別表第1、別表第2、別表第3及び別表第4のとおりとする。

(単位の計算方法)

第6条 単位の計算方法については、次のとおりとする。この場合において、1時間の授業時間は45分とする。

- (1) 講義については、15時間の授業時間数をもって1単位とする。
- (2) 演習については、15時間の授業時間数をもって1単位とする。
- (3) 実験及び実習については、30時間の授業時間数をもって1単位とする。

(履修方法)

第7条 本専攻の学生は、履修しようとする授業科目について指導教員の承認を得て別に定める期日までに履修届を医科学専攻長に提出し、その承認を得なければならない。

2 学生は、授業科目の履修に当たっては、あらかじめ指導教員の指導を受けなければならない。

3 第1項の履修届を提出しない学生には、履修を認めない。ただし、履修しようとする授業科目については、当該学生の指導教員及び当該授業担当教員の承認を得て変更することができる。

4 指導教員が特に必要と認めるときは、他の課程、専攻又は学部の授業科目を当該課程、専攻又は学部の定めるところにより履修させることができる。

(単位の認定等)

第8条 単位の認定及び成績の評価は、授業担当教員が行う。

(成績評価の区分)

第9条 履修科目の成績は、秀(90点以上)、優(80点以上90点未満)、良(70点以上80点未満)、可(60点以上70点未満)又は不可(60点未満)の評語で表し、可以上を合格とする。

(転専攻)

第10条 本学の修士課程の他専攻から本専攻への転専攻は、認めない。本学の修士課程の他

専攻への転専攻については、当該他専攻の定めるところによる。

(修了要件)

第11条 本専攻の修了要件は、本専攻に2年以上在学し、コースごとに次の各号に定めるところにより30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を在学期間中に提出して、その審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、審査の上優れた業績をあげたと認められる者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

(1) 医科学コース 必修科目18単位、選択科目12単位以上

(2) 公衆衛生学コース 必修科目18単位、選択科目12単位以上で、かつ、公衆衛生学5領域についてそれぞれ2単位以上

(3) ヘルスケアイノベーションコース 必修科目28単位、選択科目から2単位以上

2 前項の規定にかかわらず、公衆衛生学コースの1年コースの修了要件は、本専攻に1年以上在学し、前項第2号に定めるところにより30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を在学期間中に提出して、その審査及び最終試験に合格することとする。

3 前2項の規定にかかわらず、公衆衛生学コースにおいては、学位論文の提出及び審査に代えて、特定の課題についての研究成果の提出及び審査とすることができる。

(学位論文等の提出)

第12条 学位論文又は特定の課題についての研究の成果(以下「学位論文等」という。)は、指導教員の承認を得て、専攻長に提出しなければならない。学位論文等の提出については、高知大学学位規則(以下「学位規則」という。)に定めるもののほか、本専攻において別に定める。

(学位論文等の審査、最終試験及び学位の取扱い)

第13条 学位論文等の審査、最終試験及び学位の取扱いについては、学位規則及び本専攻において定めるところによる。

第14条 削除

第15条 削除

(雑則)

第16条 この規則に定めるもののほか、本専攻に係る教育方法及び履修等に関し必要な事項は、医科学専攻会議(合同の専攻会議を含む。)が、別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成20年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 本専攻の教育方法及び履修等については、この規則及びこの規則に基づく別段の定めがあるものを除き、当分の間、この規則の施行日前における高知大学（旧高知医科大学を含む。）大学院医学系研究科修士課程医科学専攻の教育方法及び履修等の例による。

附 則（平成 21 年 3 月 31 日規則第 132 号）

この規則は、平成 21 年 3 月 31 日から施行し、平成 20 年度入学生から適用する。

附 則（平成 22 年 3 月 16 日規則第 73 号）

- 1 この規則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行し、平成 22 年度入学生から適用する。
- 2 高知大学大学院総合人間自然科学研究科修士課程医科学専攻における臨床腫瘍学の研究分野の授業科目及び単位数等並びに修了要件に関する規則（平成 20 年規則第 133 号）は、廃止する。ただし、平成 21 年度以前の入学生が在学する間は、存続するものとする。

附 則（平成 24 年 2 月 20 日規則第 65 号）

この規則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 23 年度以前の入学生については、改正後の規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年 1 月21日規則第56号）

この規則は、平成 25 年 1 月 21 日から施行する。

附 則（平成25年 1 月23日規則第65号）

この規則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 24 年度以前の入学生については、改正後の規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 27 年 3 月 16 日規則第 102 号）

この規則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 26 年度以前の入学生については、改正後の規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 28 年 12 月 26 日規則第 45 号）

この規則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 28 年度以前の入学生については、改正後の規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 30 年 2 月 27 日規則第 64 号）

この規則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 31 年 1 月 28 日規則第 64 号）

この規則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 30 年度以前の入学生については、改正後の規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和 2 年 3 月 25 日規則第 100 号）

この規則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。ただし、令和元年度以前の入学生については、改正後の規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和 3 年 3 月 18 日規則第 51 号）

この規則は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。ただし、令和 2 年度以前の入学生については、改正後の規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和 4 年 3 月 4 日規則第 62 号）

この規則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。ただし、令和 3 年度以前の入学生については、この規則による改正後の高知大学大学院総合人間自然科学研究科修士課程医科学専攻規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表第1（第5条、第11条関係）

医科学コース

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態		
			必修	選択	講義	演習	実習
必修科目	医学英語	1	1		○		
	医科学特別研究（研究計画立案）	1・2	2			○	
	医科学特別研究（実験・調査）	1・2	2			○	
	医科学特別研究（ゼミナール）	1・2	2			○	
	医科学特別研究（論文作成）	1・2	2			○	
	医科学特別研究（研究発表）	1・2	2			○	
	研究者と診療の科学（臨床医学概論）*	1	2		○		
	人体の構造と発生（人体形態学）*	1	1		○		
	人体の正常の生命過程（人体機能学）*	1	1		○		
	疾患の原因・成立機序・病態と転帰（病理病態学）*	1	1		○		
	社会・環境と医学（社会医学）*	1	1		○		
医科学における心と倫理*	1	1		○			
選択科目	分子から見た医学と医療	1		2	○		
	生体防御のしくみ	1		2	○		
	循環から見た医学と医療	1		2	○		
	腫瘍の発生・増殖と制御	1		2	○		
	神経の科学	1		2	○		
	誕生・発育と加齢の科学	2		2	○		
	病理・法医学見学実習	1		2			○
	臨床実習	1		2			○
	臨床感染症学	1		2	○		
	診断と治療選択	2		2	○		
	再生・機能回復医学	1		2	○		
	資源と生命	2		2	○		
	糖鎖生物学の基礎	1		2	○		
	環境保健学	1		2	○		
	環境科学測定	1		1	○		
	産業保健学Ⅰ	1		2	①	①	
	産業保健学Ⅱ	1		2	①	①	
	産業保健実践	1		1	○		
	疫学	1		2	○		
	医療政策・医療経済学*	1		2	○		
高齢期の健康生活と医学研究*	2		2	○			
生活機能の障害と医療・福祉*	2		2	○			
医療管理*	1		2	○			
海洋生物資源による免疫応答調節*	1		2	○			
生命環境学入門*	1		2	○			

※授業形態の○内の数字は、単位数の内訳を示す。

※科目名の*は開放科目を示す。

別表第2（第5条、第11条関係）
公衆衛生学コース

科目区分	授業科目の名称	領域略称	修得条件	配当年次	単位数		授業形態		
					必修	選択	講義	演習	実習
必修科目	医学英語		必修	1	1		○		
	医科学特別研究（研究計画立案）		必修	1・2	2			○	
	医科学特別研究（実験・調査）		必修	1・2	2			○	
	医科学特別研究（ゼミナール）		必修	1・2	2			○	
	医科学特別研究（論文作成・課題研究）		必修	1・2	2			○	
	医科学特別研究（研究発表）		必修	1・2	2			○	
	研究者と診療の科学（臨床医学概論）*		必修	1	2		○		
	人体の構造と発生（人体形態学）*		必修	1	1		○		
	人体の正常の生命過程（人体機能学）*		必修	1	1		○		
	疾患の原因・成立機序・病態と転帰（病理病態学）*		必修	1	1		○		
	社会・環境と医学（社会医学）*	【社会】	5科目から2単位以上	1	1		○		
医科学における心と倫理*	1			1		○			
選択科目	行動科学	【社会】	5科目から2単位以上	1		1	○		
	高齢期の健康生活と医学研究*			2		2	○		
	生活機能の障害と医療・福祉*			2		2	○		
	疫学	【疫学】	6科目から2単位以上	1		2	○		
	環境疫学			1		1	○		
	臨床疫学・薬剤疫学			1		1	○		
	疫学研究デザインと研究費申請			1		1	○		
	フィールド調査：理論と実践			1		2	①	①	
	メディカルデータマイニング	1		2	①	①			
	情報医科学のための数理統計学Ⅰ	【生物】	3科目から2単位以上	1		2	①	①	
	情報医科学のための数理統計学Ⅱ			1		2	①	①	
	疫学研究のための統計学			1		2	①	①	
	災害公衆衛生入門	【医療】	10科目から2単位以上	1		1	○		
	地域医療学入門			1		1	○		
	国際保健学入門			1		1	○		
	医療管理*			1		2	○		
	医療政策・医療経済学*			1		2	○		
応用医療情報システム学*	1				2	①	①		
マネジメント入門	1				2	①	①		
病院経営学講義	1				2	○			
病院経営学演習	1				2		○		
病院経営学実習	1				2			○	

環境保健学	【環境】	6科目 から 2単位 以上	1		2	○		
環境科学測定			1		1	○		
産業保健学Ⅰ			1		2	①	①	
産業保健学Ⅱ			1		2	①	①	
産業保健実践			1		1	○		
生命環境学入門 *			1		2	○		
<p>表中の領域略称は、公衆衛生学における以下の5領域区分を示す。</p> <p>【社会】：社会医学・医倫理学・行動科学領域</p> <p>【疫学】：疫学領域</p> <p>【生物】：生物統計学領域</p> <p>【医療】：医療管理学・医療政策学・医療経済学領域</p> <p>【環境】：環境保健学領域</p>								

※授業形態の○内の数字は、単位数の内訳を示す。

※科目名の * は開放科目を示す。

別表第3（第5条、第11条関係）
公衆衛生学コース（1年コース）

科目区分	授業科目の名称	領域略称	修得条件	単位数		授業形態		
				必修	選択	講義	演習	実習
必修科目	医学英語		必修	1		○		
	医科学特別研究（研究計画立案）		必修	2			○	
	医科学特別研究（実験・調査）		必修	2			○	
	医科学特別研究（ゼミナール）		必修	2			○	
	医科学特別研究（論文作成・課題研究）		必修	2			○	
	医科学特別研究（研究発表）		必修	2			○	
	医科学総論		必修	5		①	②	②
	社会・環境と医学（社会医学）*	【社会】	5科目から2単位以上	1		○		
	医科学における心と倫理*			1		○		
選択科目	行動科学	【社会】	5科目から2単位以上		1	○		
	高齢期の健康生活と医学研究*				2	○		
	生活機能の障害と医療・福祉*				2	○		
	疫学	【疫学】	6科目から2単位以上		2	○		
	環境疫学				1	○		
	臨床疫学・薬剤疫学				1	○		
	疫学研究デザインと研究費申請				1	○		
	フィールド調査：理論と実践				2	①	①	
	メディカルデータマイニング		2	①	①			
	情報医科学のための数理統計学Ⅰ	【生物】	3科目から2単位以上		2	①	①	
	情報医科学のための数理統計学Ⅱ				2	①	①	
	疫学研究のための統計学				2	①	①	
	災害公衆衛生入門	【医療】	10科目から2単位以上		1	○		
	地域医療学入門				1	○		
	国際保健学入門				1	○		
	医療管理*				2	○		
	医療政策・医療経済学*				2	○		
	応用医療情報システム学*				2	①	①	
	マネジメント入門				2	①	①	
	病院経営学講義				2	○		
	病院経営学演習				2		○	
病院経営学実習		2			○			
環境保健学	【環境】	6科目から2単位以上		2	○			
環境科学測定				1	○			
産業保健学Ⅰ				2	①	①		
産業保健学Ⅱ				2	①	①		
産業保健実践				1	○			
生命環境学入門*				2	○			

表中の領域略称は、公衆衛生学における以下の5領域区分を示す。

- 【社会】 : 社会医学・医倫理学・行動科学領域
- 【疫学】 : 疫学領域
- 【生物】 : 生物統計学領域
- 【医療】 : 医療管理学・医療政策学・医療経済学領域
- 【環境】 : 環境保健学領域

※授業形態の○内の数字は、単位数の内訳を示す。

※科目名の * は開放科目を示す。

別表第4（第5条、第11条関係）

ヘルスケアイノベーションコース

科目区分	授業科目の名称	修得条件	配当年次	単位数		授業形態			
				必修	選択	講義	演習	実習	
専攻共通科目	医科学基礎科目	医学英語	必修	1	1		○		
		研究者と診療の科学（臨床医学概論）*	必修	1	2		○		
		人体の構造と発生（人体形態学）*	必修	1	1		○		
		人体の正常の生命過程（人体機能学）*	必修	1	1		○		
		疾患の原因・成立機序・病態と転帰（病理病態学）*	必修	1	1		○		
		社会・環境と医学（社会医学）*	必修	1	1		○		
	医科学における心と倫理*	必修	1	1		○			
	特別研究科目	医科学特別研究（研究計画立案）	必修	1・2	2			○	
		医科学特別研究（実験・調査）	必修	1・2	2			○	
		医科学特別研究（ゼミナール）	必修	1・2	2			○	
医科学特別研究（論文作成）		必修	1・2	2			○		
医科学特別研究（研究発表）		必修	1・2	2			○		
コース別科目	基礎科目	医用工学	必修	1	1		○		
		医療統計学・データマイニング	必修	1	1		○ _{0.5}	○ _{0.5}	
	医工学科目	医用システムデザイン工学	必修	1	1		○		
		イノベーション・レギュラトリーサイエンス	必修	1	1		○		
		医用画像工学・人工知能	必修	1	1		○ _{0.5}	○ _{0.5}	
		アントレプレナーシップ	必修	1	1		○ _{0.5}	○ _{0.5}	
		組織行動マネジメント・リーダーシップ	必修	1	1			○	
	応用関連科目	ロジカルシンキング・デザインシンキング	必修	1	1		○	○	
		リスクマネジメント・クライシスマネジメント	必修	1	1		○		
		地域社会レジリエンス・地域医療エンパワメント	必修	1	1		○		
		医療政策・医療経済学*		1		2	○		
		フィールド調査：理論と実践	5科目から2単位以上	1		2	①	①	
		病院経営学講義		1		2	○		
病院経営学演習		1			2		○		
高齢期の健康生活と医学研究*	2			2	○				

※授業形態の○内の数字は、単位数の内訳を示す。

※科目名の*は開放科目を示す。